Kyoto University
Research Reactor Institute

International Symposium on

Nuclear Back-end Issues and the Role of Nuclear Transmutation Technology after the accident of TEPCO's Fukushima Daiichi Nuclear Power Stations

KUR Research Program for Scientific Basis of Nuclear Safety

Kyoto University

Second Announcement

Kyoto University
Research Reactor Institute

Invitation to the Symposium

平成23年東北地方太平洋沖地震 及び 福島第一原子力発電所の事故によって被災された皆様方に謹んでお見舞い申し上げますとともに被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

京都大学研究炉の特徴を活かして、原子力利用を支える安全基盤科学研究と教育を包括的に進めるための研究教育拠点を形成し、原子炉利用に対する社会的な理解の獲得に資する事業「原子力安全基盤科学研究プロジェクト」を、平成２４年から4年間に亘り実施しております。このプロジェクトでは、原子力安全基盤科学研究として、原発事故関連データの検証と集約や、統合原子力安全科学研究に取り組むとともに、人材育成の観点から包括的原子力安全基盤教育に取り組んでおります。

このプロジェクトの一環として、毎年一回テーマを決め、国際シンポジウムを開催することとしており、平成２４年には、環境モニタリングと線量評価に関する第一回目のシンポジウムを開催いたしました。本年は2013年11月28日に「福島原子力発電所事故後の核燃料バックエンド問題と核変換技術の役割」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。

京都大学原子炉実験所 所長
組織委員会委員長
森山 裕丈

Outline of the Symposium

Purpose

東京電力福島第一原子力発電所の事故（福島原発事故）により、原子力発電所に大量に貯蔵されている使用済み核燃料の問題が改めて注目されるとともに、長期間の管理が必要な高レベル放射性廃棄物の処理処分への不安が高まっております。事故後の我が国における核燃料バックエンドサイクルの方針は不透明な状況ではありますが、これらの問題は原子力エネルギー利用において避けることができない課題であり、安全性向上のための技術開発が各国で行われております。特に最近は、高レベル放射性廃棄物の毒性を低減するための核変換技術に対する期待が高まっているところです。

本シンポジウムでは、福島原発事故後のバックエンド問題についての現状を把握するとともに、今後の研究開発の進め方について検討いたします。このために、使用済み核燃料や放射性廃棄物の処理処分及び核変換技術開発に取り組んでいる国内外の有識者による講演やパネル討論を行うとともに、関連する研究の一般発表をポスターセッションとして開催いたします。なお、本シンポジウムの発表内容は、ピアレビューを経て公刊いたします。

Call for Papers

Program and Publication

プログラムは口頭発表とポスターセッションです。基調講演と口頭発表は招待者のみとなります。下記のテーマでポスターを募集いたします。応募いただいたアブストラクトより、厳選して2014年の秋にシュプリンガー出版から発行される論文集に推薦させていただきます。

List of Topics

1.核変換
- a. 原子炉システム、構造
- b.燃料サイクル
- c. 材料工学

2. 核燃料サイクル
- a. 放射性廃棄物の処理と処分
- b. パブリック アクセプタンス

Registration and Submission

論文投稿、参加申込みは下記のページからお願いします。

http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/anzen_kiban/sympo

日時:

平成25年 11月28日

会場:

京都大学芝蘭会館（京都市左京区吉田近衛町　京都大学医学部構内）

参加費:

論文投稿及び、参加費は無料です
レセプション参加費用 ￥6.000円

使用言語:

英語

各締切日:

平成25年 7月 1日: アブストラクト、参加申し込み受付開始
平成25年 9月20日: アブストラクト申し込み締切
平成25年10月31日: Springer出版にて論文投稿のご案内
平成25年11月25日: 参加申込み締切
平成26年 1月16日: 論文投稿締切日

お問い合わせ先:

京都大学原子炉実験所
原子力安全基盤科学研究プロジェクト

住所: 大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目
電話: 072-451-2432
Fax: 072-451-2639
E-mail: anzenkiban@rri.kyoto-u.ac.jp

主催

京都大学原子炉実験所

後援

日本原子力学会

組織員会

委員長: 森山 裕丈（京都大学原子炉実験所）

中山 真一（日本原子力研究開発機構）
井頭 政之（東京工業大学）
竹田 敏一（福井大学 附属 国際原子力工学研究所）
石橋 健二（九州大学）
鬼柳 善明（北海道大学）
三澤 毅　（京都大学原子炉実験所）
森　義治（京都大学原子炉実験所）
中島 健　（京都大学原子炉実験所）
高橋 千太郎（京都大学原子炉実験所）
山名 元　（京都大学原子炉実験所）

国際アドバイザリー委員会

山名　元　　（京都大学原子炉実験所）
大井川 宏之（日本原子力研究開発機構）

プログラム委員会

委員長: 中島 健 （京都大学原子炉実験所）

片倉 純一（長岡技術科学大学）
岩﨑 智彦（東北大学）
山本 章夫（名古屋大学）
橋本 憲吾（近畿大学 原子力研究所）
黒崎 健　（大阪大学）
辻本 和文（日本原子力研究開発機構）
出光 一哉（九州大学）
石　禎浩（京都大学原子炉実験所）
斎藤 泰司（京都大学原子炉実験所）
卞　哲浩（京都大学原子炉実験所）
藤井 俊行（京都大学原子炉実験所）

事務局

委員長: 山本 俊弘（京都大学原子炉実験所）

佐野 忠史（京都大学原子炉実験所）
堀　順一（京都大学原子炉実験所）
伊藤 大介（京都大学原子炉実験所）
仲谷 麻希（京都大学原子炉実験所）

Program

10:00-10:15 開会挨拶

10:15-10:45 福島第一原発の現状と今後
増井 秀企（東京電力株式会社・原子力耐震技術センター
安全調査グループマネージャー）

10:45-11:15 高レベル放射性廃棄物の問題について
山地 憲治（地球環境産業技術研究機構・理事）

11:15-11:45 高レベル放射性地層処分：概念発展史と今日の課題
Joonhong Ahn（カリフォルニア大学 教授）

11:45-12:15 核変換研究への期待 有馬 朗人（武蔵学園・学園長）

12:15-14:00 昼食、ポスターセッション

14:00-14:30 核変換技術に関わるOECDの取組
Thierry Dujardin（経済協力開発機構原子力機関・事務局次長）

14:30-15:00 MYRRAH計画について（MYRRAH project）
Hamid Aït Abderrahim（ベルギー原子核研究センター・副所長）

15:00-15:30 日本原子力研究開発機構でのADS研究
大井川 宏之（日本原子力研究開発機構 ・ 研究推進室長）

15:30-16:00 コーヒーブレイク、ポスターセッション

16:00-16:30 京大炉でのADS状況
卞 哲浩（京都大学原子炉実験所・准教授）

16:30-17:00 核変換の為の核データ研究
井頭 政之（東京工業大学・教授）

17:00-18:00 パネルディスカッション

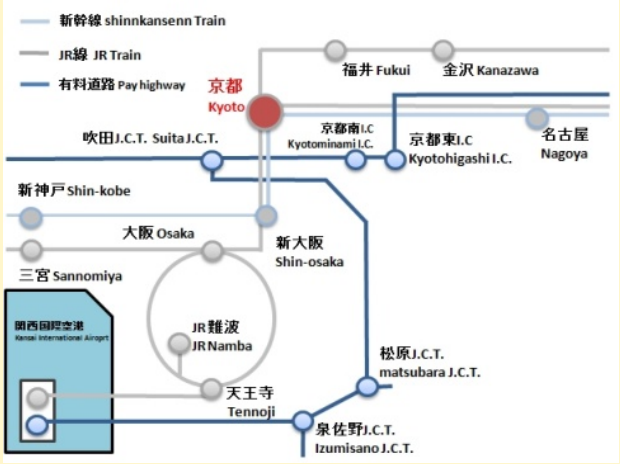
18:00-18:15 閉会挨拶

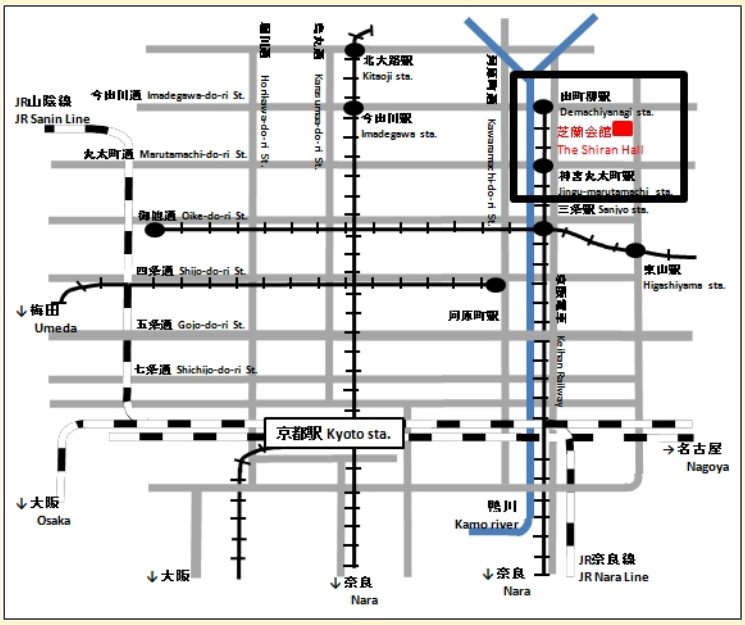
18:15-19:40 懇親会

Access and Map to Shiran Hall

住所: 京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

関西国際空港から、京都駅まで



JR関空特急「はるか」で約75分

高速バスで85分